

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学放射線腫瘍学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 10月

福島県立医科大学医学部放射線腫瘍学講座 鈴木義行

■ 研究課題名

悪性腫瘍患者に対する寡分割照射の治療成績

■ 研究期間

2024年10月 ~ 2030年3月

■ 研究の目的・意義

近年、放射線治療技術の進歩により、寡分割照射や SBRT（体幹部定位放射線治療）が新たな治療選択肢として注目されています。寡分割照射とは、1回あたりの照射線量を増やし、総治療回数を減らす照射法です。従来行われてきた通常分割照射と比較して、治療期間の短縮や患者さんの通院負担の軽減、有害事象の低減や治療効果の向上など多くのメリットがあります。しかしながら国内からの報告は未だに少なく、有効性や安全性の確認にはより多くのエビデンスが必要です。

今まで報告されている通常分割の放射線治療の治療成績と寡分割照射を受けた患者さんの治療成績（生存期間や放射線を照射した部位に再発しない割合）や有害事象の発現率を比較することで、寡分割照射の有効性・安全性が明らかになれば国内での寡分割照射施行数が増加し、より多くの患者が寡分割照射による恩恵を受けることが期待されるため、当施設での症例解析を行うこととしました。

■ 研究対象となる方

2017年4月1日から2024年4月30日までに、福島県立医科大学附属病院にて定位放射線治療（定位照射）または1回線量が2.5Gy以上の強度変調放射線治療（IMRT）を受けられた方が対象です。1回線量は放射線治療の説明用紙内に記載されています。ご不明の場合は下記までお問い合わせください。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から年齢、治療を行った疾患の内容（病期、病理分類、腫瘍の大きさ、転移巣の有無と部位・個数）、放射線治療の内容（期間、線量、照射部位、照射方法）、放射線治療以外の治療内容（手術、化学療法の内容）、放射線治療前後の検査結果（血液検査、CT・MRI・PET-CTなどの画像検査）、治療後どのような転帰をたどられたかについてデータを収集します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2024年11月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学放射線腫瘍学講座であり、研究責任者は放射線腫瘍学講座 鈴木義行です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学放射線腫瘍学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当なし

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部放射線腫瘍学講座 担当：鈴木 義行

電話：024-547-1630 FAX：024-547-1631

e-mail：ysuzu@fmu.ac.jp